

2022年度のトピックス

「さいしん まちづくりファンド」第4号、第5号投資を実施

一般財団法人民間都市開発推進機構との共同出資により設立した当ファンドは、出資・社債取得を通じて、埼玉県内の中心市街地の活性化や歴史的建造物の保全を支援しております。

2022年度は5月にさいたま市岩槻区の企業へ、11月には小川町の企業へ、それぞれ第4号、5号となる投資を行いました。



さいたま市岩槻区にある築100年超の古民家を改装し、ベーグル店「MIYATAYA BAGEL」を開業。(第4号投資)



小川町にある3つの宿泊施設をまとめ「小川まちやど」として運営。写真は築80年ほどの古民家を改装した宿「ツキ」。(第5号投資)

埼玉県北部エリア創業起業セミナー 「エリアコミュニティで起業しよう！」を開催

埼玉県北部エリアにおけるまちづくりや創業支援を目的に、7月～10月まで全5回、座学と拠点見学を組み合わせた実践的なセミナーを開催しました。エリアコミュニティとして地域の賑わい創出に向け動き出している熊谷・本庄・行田・羽生の各エリアや、先進事例である栃木県宇都宮市「もみじ通り」を見学しました。受講生から創業案件も生まれています。



第2回セミナーの講義は「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫」(本庄市)で行われました。

ケアラー・ヤングケアラー支援の取組み

当金庫とさいしん福祉財団は2022年7月、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会と「ケアラーを支援するための協働に関する連携協定」を締結しました。ケアラー・ヤングケアラーについての啓発活動や、ヤングケアラーの支援のため「さいしんSDGs私募債」などを通じた「こども食堂・未来応援基金」への寄附を実施しております。

埼玉県の「ケアラー月間」である11月には、当金庫が作成した「ケアラー月間促進缶バッジ」を全役職員が着用し、主要店舗でディスプレイを展示するなど、啓発活動を実施しました。



ケアラー月間促進
缶バッジ



ディスプレイ展示(本部および主要26店舗にて実施)

《さいしん》特産品オンラインショップ ～粋～を開催

2021年度よりコロナ禍における飲食業者や食品事業者の販路拡大、新たな販売チャネルへの進出（デジタル変革《DX》）、ブランディング支援を目的としてオンラインショップを継続して開設しております。2022年度は夏季・冬季の2回開催し、延べ199の事業者（新規89事業者）さまに出品いただき、4,064個の商品を販売いたしました。

今年も《さいしん》は応援していきます。
ただいま第5弾を開催中！
【開催期間】2023年6月1日～8月31日
<https://www.saishin-mall.com>



「あのね、が言える距離にいる」 信用金庫を目指して

“従業員一人ひとりが「地域で一番の聞き上手になろう」という決意のもと、2017年より『《さいしん》の聞き上手宣言！』を展開しております。

2022年11月からは次のステップとして「あのね、」をキーワードに新たな広告展開を開始しました。テレビ、ラジオ、店頭や駅サイネージに加え、シネアドやYouTubeでCM動画やポスターを展開しております。「あのね、が言える距離にいる」信用金庫を目指し、これからも皆さまと共に歩んでまいります。



ぜひ一度ご覧ください。
<https://www.saishin.co.jp/anone/index.html>

